

[ハヤテショウズ]



宝小豆

ハヤテショウズ

茶殻早生



宝小豆

ハヤテショウズ

茶殻早生

ハヤテショウズ

登録番号 あずき農林2号

登録年月 昭和51年5月

旧系統名 十育85号

育成場所 道立十勝農業試験場

1. 来歴

「ハヤテショウズ」は、昭和40年に北海道立十勝農業試験場において、早生、良質、多収を主要育種目標として、「宝小豆」を母に、「斑小粒系-1」を父として人工交配し、 $F_1 \sim F_2$ 代は圃場で、 F_3 代を鹿児島県において世代短縮をはかり、それぞれ集団育種法により養成した。 F_4 代で個体選抜し、以後系統育種法により選抜固定をはかってきたものである。昭和45年よりは「5082」の系統名で生産力検定予備試験に入れられ、早生群で最も多収を示し、翌年冷害年であったが、同様に多収を示した。昭和47年以降は「十育85号」の系統名を付し、生産力検定試験を、昭和48年よりは特性検定試験、地域適応性検定試験、奨励品種決定現地調査（育成系統比較現地試験）にくり入れ、主に早生種の「茶殻早生」を対象として地方適否を確めてきたものである。

2. 形態的特性

茎色、花色などは「茶殻早生」と同じであるが、葉色は生育後期になると「茶殻早生」よりやややうすい緑である。葉形は生育後期になると小葉の先がややとがり剣先様を呈する。草丈、主茎節数などは「茶殻早生」と「宝小豆」の中間に位する。着莢数は「茶殻早生」より多く、ほぼ「宝小豆」並みである。熟莢色は「茶殻早生」と同じ褐色を呈し、先端がわずかに湾曲してやや細めである。子実の形状は短円筒形で丸味を帯び、粒色は「茶殻早生」よりやや濃い赤であるが、刈りおくれなどで粒色にむらが生じることがある。

3. 生態的特性

開花始は「茶殻早生」より3日前後早く、成熟期は2～3日おそい早生種に属する。耐倒伏性は「茶殻早生」より弱いが、「宝小豆」より強い。

育成地では「茶殻早生」より8～35%、4カ年平均で22%多収を示し、「宝小豆」より5%低かった。早生種であるが伸育性が「茶殻早生」と異り、条件によっては「宝小豆」並みの収量をあげる。また昭和46年における生産力検定予備試験の成績および低温育種実験室における試験成績から、不良気象条件においても生育よく減収程度が少ない。育成地における収量の年次変動をEberhartらの方法で求めると「茶殻早生」より多収性と共に安定性が高い。また多肥あるいは密植に対する反応は「茶殻早生」や「宝小豆」と同様に多収が得られ、早霜を予想した早刈りにおいても「茶殻早生」、「宝小豆」より多収を示す。

1000粒重は「茶殻早生」並みかわずかに軽い小粒種である。外観的品質は「茶殻早生」並みであ

るが、刈りおくれなどにより粒色にむらが生ずることもある。

種皮の厚さは「茶殻早生」とほぼ同じで、種皮歩合も同様である。したがって製あん歩どまりは「茶殻早生」並みと思われる。

4. 栽培適地

北海道の十勝、網走及び上川地方の畑作地帯に適する。

5. 奨励品種採用具

北海道（昭和51年）

6. 栽培上の注意

「茶殻早生」に準じてよいが、生育後期～収穫期の気象条件（特に多雨、長雨）によっては品質を低下させることがあるので、適期収穫および適正な収納作業に心がける必要がある。また多肥条件、密植条件に対する反応は「茶殻早生」よりも反応が大きいので、増肥、密植化をはかるとより多収が期待できる。

7. 育成地における試験成績

(1) 主要特性

品 種 名	葉			毛茸の 形 状	花 色	茎 色	草 丈	熟 期	熟 莢	
	形	大 小	色						色	形 状
ハヤデショウズ	円	やや大	緑	鈍	黄	緑	やや低～中	早	褐	長く太さやや細く先端やや湾曲
茶 殻 早 生	円	大	緑	鈍	黄	緑	低	早	褐	長く太さ中位やや湾曲
宝 小 豆	円	大	緑	鈍	黄	緑	中	中	褐	長く太さ中位やや湾曲

品 種 名	子 実			種 皮*	
	形 状	大 き さ	色	厚 さ	歩 合
				m/m	%
ハヤデショウズ	短 円 筒	やや小	やや濃赤	0.0660	9.135
茶 殻 早 生	円 筒	やや小	赤	0.0674	9.221
宝 小 豆	円 筒	やや小	赤	0.0707	8.572

* 昭和49年度産種子についての調査

(2) 生産力検定試験成績（昭和47～50年平均）

品 種 名	開花始 (月日)	倒伏 程度	成熟期 (月日)	草丈 (cm)	主茎 節数	分枝数 (本/株)	莢 数 (コ/株)	莢の 太さ (mm)	一莢 粒数	10 a 当たり				子実 重歩 合(%)	1000 粒重 (g)	屑豆 歩合 (%)	品質
										総重 (kg)	子実 重 (kg)	茶殻 比 (%)	宝比 (%)				
ハヤデショウズ	7.25	0.2	9.13	38	11.4	2.5	48	5.22	6.47	408	281	122	95	69	114	6.6	3上
茶 殻 早 生	28	0	11	29	10.3	2.5	41	5.12	6.60	344	231	100	78	67	117	8.9	2下
宝 小 豆	29	0.5	18	51	12.5	3.0	47	5.46	7.05	450	296	128	100	66	119	6.3	2

注 倒伏程度の評価は次による。

0：無 1：少 2：やや少 3：中 4：やや多 5：多

(3) 栽植密度，施肥量に対する特性検定試験

ア 栽培概要

年次	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	畦 巾	株 間
昭和 48	3.0 kg	12.6 kg	7.2 kg	3.6 kg	60 cm	20 cm
49	3.2	12.0	6.4	5.6	60	20
50	3.2	12.8	6.8	2.4	60	20

標準区：10 a 当り施肥量及び栽植密度（上表）

倍肥区：各要素とも標準区の2倍量，栽植密度 60×20cm 2 本立

密植区：標準肥で栽植密度 60×20cm 2 本立

疎植倍肥区：各要素とも標準肥の2倍量，栽植密度 60×30cm 2 本立

早刈り区：標準肥で9月9日刈り（開花始（宝小豆）から6週間後）60×20cm 2 本立

イ 試験成績（昭和48～50年，3カ年平均，但し早刈り区は昭和50年）

処理	品 種 名	開花始 (月日)	成熟期 (月日)	草 丈 (cm)	主 茎 節 数	分株数 (本/株)	莢 数 (=ノ/株)	一 莢 粒 数	10 a 当 たり				1000 粒 重 (g)	品質
									総 重 (kg)	子実重 (g)	茶殻比 (%)	宝 比 (%)		
標準区	ハヤテショウズ	7.26	9.17	37	10.9	2.5	50	6.48	408	279	118	95	116	3上
	茶 殻 早 生	29	14	32	10.3	2.5	41	6.85	345	237	100	81	117	3上
	宝 小 豆	30	21	49	12.9	2.8	47	6.90	453	294	124	100	120	2下
倍肥区	ハヤテショウズ	7.26	9.17	47	12.5	2.7	49	6.70	480	319	120	101	115	3
	茶 殻 早 生	28	13	34	10.4	2.5	44	6.95	407	265	100	84	116	3上
	宝 小 豆	30	20	54	13.5	2.9	51	6.93	518	315	119	100	120	2下
密植区	ハヤテショウズ	7.26	9.14	36	9.6	1.5	32	6.46	475	331	123	99	116	3
	茶 殻 早 生	30	11	29	8.5	1.2	25	6.72	406	269	100	81	117	3上
	宝 小 豆	30	19	49	10.7	0.9	27	7.05	515	334	124	100	120	2下
疎倍肥植区	ハヤテショウズ	7.26	9.19	45	13.3	4.1	74	6.42	449	301	130	102	116	3下
	茶 殻 早 生	29	15	38	11.6	2.9	59	6.80	350	231	100	79	118	3上
	宝 小 豆	29	21	57	14.1	3.7	66	6.67	452	294	127	100	120	2下
早刈り区	ハヤテショウズ	7.27	(22.5)	31	10.2	3.0	41	6.74	324	222	103	103	107	4
	茶 殻 早 生	30	(21.7)	26	10.2	2.3	37	6.69	308	216	100	100	111	3下
	宝 小 豆	31	(10.7)	40	12.5	2.6	41	6.42	331	216	100	100	105	3

注 早刈り区の成熟期は熟莢歩合（％）である。

(4) 低温育種実験室における試験成績（昭和49～50年平均）

品 種 名	処 理	莢 数			1 莢 内 粒 数			1000 粒 重			1 個 体 当 り 子 実 重		
		莢 数 (コ)	T ₀ 比 (%)	茶 殻 早生比 (%)	一莢内 粒 数	T ₀ 比 (%)	茶 殻 早生比 (%)	1000 粒 重 (g)	T ₀ 比 (%)	茶 殻 早生比 (%)	子実重 (g)	T ₀ 比 (%)	茶 殻 早生比 (%)
ハヤテショウズ	T ₀	18.7	100	116	6.30	100	89	115	100	110	13.0	100	122
	T ₁	13.3	71	121	5.14	81	93	128	111	102	8.7	67	124
	T ₂	11.9	63	149	4.78	76	91	127	110	95	7.1	55	148
茶 殻 早 生	T ₀	16.1	100	100	7.04	100	100	105	100	100	10.7	100	100
	T ₁	11.0	68	100	5.51	78	100	126	120	100	7.0	65	100
	T ₂	8.0	50	100	5.27	75	100	133	127	100	4.8	45	100
宝 小 豆	T ₀	19.7	100	122	6.87	100	98	105	100	100	13.2	100	123
	T ₁	15.3	78	139	5.99	87	109	112	107	89	10.0	76	142
	T ₂	13.1	67	164	4.76	69	90	133	127	100	7.8	59	163

注 処理 T₀：無処理

T₁：開花始の2～3日後から10日間（昭和50年は14日間）

昼 15℃ 夜 12℃

T₂：T₁処理始の7日後（昭和50年はT₁処理後）から10日間（昭和50年は14日間）

8. 配布先における試験成績

(1) 道立各農試における試験成績（育成系統地域適応性検定試験）

場 所	品 種 名	開花始 (月日)	成熟期 (月日)	草丈 (cm)	分枝数 (本/株)	莢 数 (コ/株)	10 a 当 た り				1000 粒 重 (g)	屑 豆 歩 合 (%)	品質	試験年次
							総 重 (kg)	子実重 (kg)	茶殻比 (%)	宝 比 (%)				
北農 見試	ハヤテショウズ	7.28	9.19	53	3.6	43	488	298	111	106	120	7.7	2下	昭48~50
	茶 殻 早 生	30	17	47	2.8	40	452	268	100	96	125	8.9	2	"
	宝 小 豆	31	24	62	3.9	40	500	280	104	100	131	5.3	2	"
上農 川試	ハヤテショウズ	7.22	9. 5	60	4.2	41	495	264	110	104	112	4.0	—	昭48~50
	茶 殻 早 生	24	3	47	4.7	36	414	240	100	94	107	2.1	—	"
	宝 小 豆	26	13	62	5.1	41	506	255	106	100	118	4.4	—	"
原農 原 種場	ハヤテショウズ	7.21	9. 5	30	2.0	33	300	184	108	90	106	8.8	3下	昭48~50
	茶 殻 早 生	22	2	27	1.4	29	247	171	100	83	106	4.5	3	"
	宝 小 豆	24	10	37	2.5	34	205	322	120	100	104	7.1	3上	"

(2) 奨励品種決定現地調査の地帯別、年次別収量一覧

(10 a 当たり)

地 耐 別*	年 次	場 所 数	ハ ヤ テ シ ョ ウ ズ			茶殻早生 子 実 重	宝 小 豆 子 実 重	備 考
			子 実 重	茶殻早生比	宝 小 豆 比			
十 勝 中 央 (Ⅱ)	昭48	2	kg	%	%	kg	kg	帯広、本別 (中生種地帯)
	49	1	311	115	108	270	288	
	50	1	285	141	116	202	245	
			300	124	105	241	285	
	平 均	4	302	122	109	246	277	
十勝山麓沿海 (Ⅰ)	48	4	257	108	108	239	237	足寄、士幌、鹿追、更別 忠類(早生種地帯)
	49	1	280	107	109	262	256	
	50	3	224	120	88	187	256	
	平 均	8	247	111	100	222	246	
網 走 (Ⅰ, 一部Ⅱ)	48	4	249	107	93	232	268	美幌、網走、北見、端野 (早生種地帯)
	49	3	245	109	94	225	260	
	50	3	185	108	94	172	197	
	平 均	10	229	108	96	212	238	
上川、空知北部 (Ⅱ, 一部Ⅰ)	48	1	150	100	83	150	180	名寄、上富良野、滝川、 深川(中生(一部早生) 地帯)
	49	3	252	122	110	206	230	
	50	3	179	122	95	147	189	
	平 均	7	206	119	100	173	206	
道 央 以 南 (Ⅲ, 一部Ⅱ)	49	4	239	113	96	211	248	栗山、長沼、倶知安、壮 瞥、伊達、蘭越、洞爺 (晩生種(一部中生種) 地帯)
	50	5	165	101	90	164	184	
	平 均	9	198	107	93	185	212	

* 北海道における小豆作事情と育種目標(案)(昭和48年2月)より区分

9. 育 成 従 事 者

交配 ~ F ₁	野 村 信 史
交配 ~ F ₁₁	佐 藤 久 泰
F ₂ ~ F ₆	後 木 利 三
F ₈ ~ F ₁₁	成 河 智 明
F ₈ ~ F ₁₀ , 低温実験	松 川 勲
F ₁₀ ~ F ₁₁ "	村 田 吉 平
F ₉ (特検)	兼 平 修
F ₁₁ (")	千 葉 一 美